

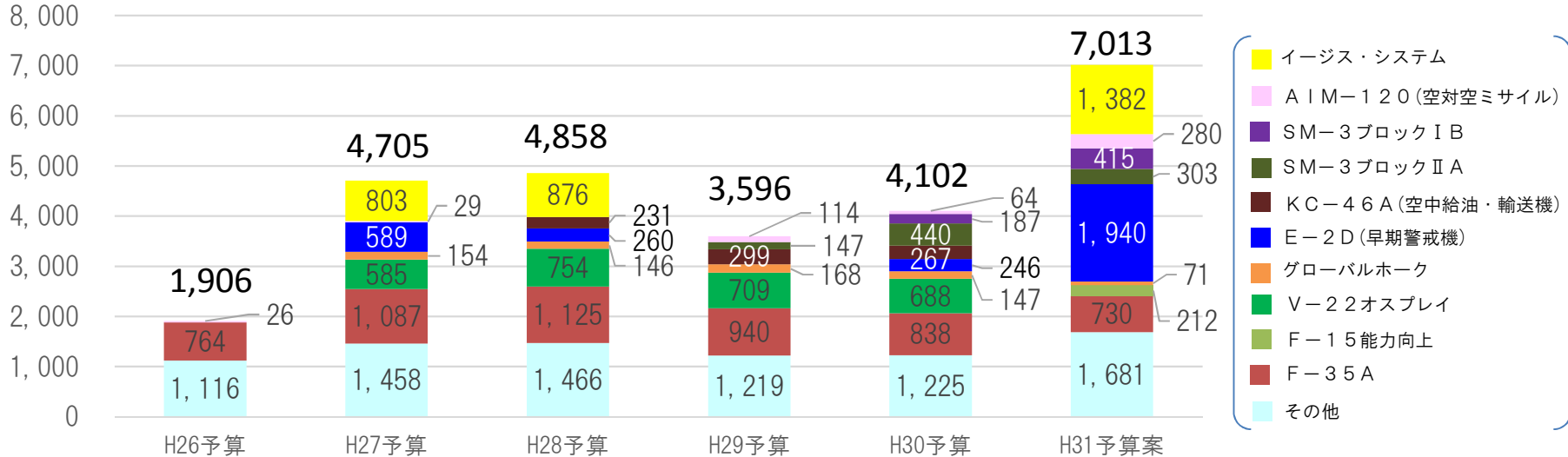
FMSによる装備品の取得について

防衛省
31年3月8日

- FMS (Foreign Military Sales) は、経済的な利益を目的とした装備品の販売ではなく、米国の安全保障政策の一環として、同盟諸国等に対して装備品を有償で提供するもの
- これにより、一般では調達できない機密性の高い装備品や、米国しか製造できない能力の高い装備品を調達できる点で、FMSは、我が国の防衛力を強化するために非常に重要なもの
- 防衛省は、FMSを通じた最新鋭の装備品の導入を含め、防衛力の強化を図っており、平成31年度予算案において、7,013億円のFMS予算を要求(対30予算：+2,911億円)

※ 平成31年度予算案においては、E-2D及びSM-3ブロックI Bの一括調達による取得を実施

○ FMSによる装備品等の取得に係る予算額(当初予算)の推移 ※契約ベース (単位：億円)



○【参考】FMS調達の代表例 ※FMSの金額



イージス・アショア
【ロッキード・マーチン】
H31年度：1,382億円



SM-3
【レイセオン】
H31年度：717億円※
※ブロックII A及びブロックI B



F-15の能力向上
【ボーイング】
H31年度：2機212億円※
※設計変更等の経費含む



グローバルホーク
【ノースロップ・グラマン】
H31年度：71億円※
※組立経費等



E-2D
【ノースロップ・グラマン】
H31年度：9機1,940億円



F-35A
【ロッキード・マーチン】
H31年度：6機730億円※
※取得関連経費を含む